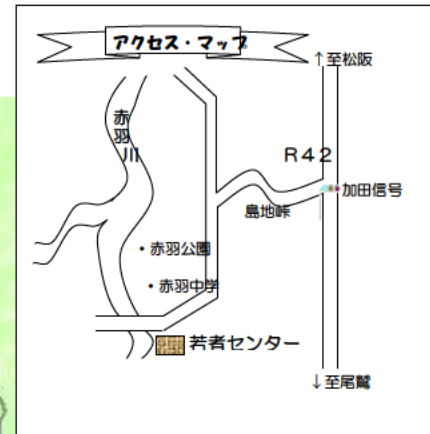


# 世界遺産 熊野古道へつながる 清流と、み仏の里を巡る道

若者センター	0.6km	円通閣聖観音像	0.1km	泉福寺
	15分		2分	
0.3km	赤羽公園	1.5km	大昌寺不動堂	1km
7分		30分		15分

若者センターへのアクセス  
車 国道42号加田信号より赤羽方面へ約10分



### ⑦大昌寺不動堂

大原地区の山麓に位置する大昌寺は明暦3年(1657)の開山といわれます。不動堂に祀られている不動像は波切不動として漁民の尊敬を集めています。堂内の格天井には143枚の歌仙絵図があります。江戸時代末の作といわれ、百人一首の他に43首の古今名歌が書かれ、その一枚一枚に作者像が彩色で描かれているという見事なものです。



世界遺産 熊野古道ツツラト峠の登り口までは、「若者センター」より車で約10分

### ⑧大原地区の道

若者センターより大昌寺へ向かう途中、国道422号線より右側に位置する大原集落の小道へと入ってゆくと、とても懐かしい光景に出会えます。時間の許す限り、ぜひとも寄り道をしてみてください。

### ①若者センター

若者センターとは、赤羽地区に位置する文化活動、交流拠点施設です。施設としては、音楽会や講演会など多目的に利用できるほか、喫茶コーナーもあり、ゆっくりと休憩することができます。駐車場、トイレ完備。



### ②赤羽神社

文安5年(1448)創建といわれ、祀神は八幡神、牛頭大神です。明治45年に現在の場所に移転されました。社殿は大きくありませんが、厳かな雰囲気、境内を囲む石積み的美しさと調和しています。神社の敷地に沿って灌漑用の水路がめぐらされているのも珍しいです。

### ③円通閣聖観音像

紀北町の赤羽地区中桐にある古寺で、本尊は観音菩薩像です。丈六(立てば一丈六尺の高さ)の坐像で金箔に覆われ、今もなお輝きを失わずにいます。荷坂峠道が開通する江戸時代前期まで、熊野街道はこの赤羽地区を通っていたため、西国三十三所の手引きの観音様として崇められ、導観音と呼ばれました。

### ④泉福寺

赤羽地区中桐の泉福寺は、万治3年(1660)に風国大順の弟子、補藤により開山された古寺です。泉福寺境内の鐘楼には、享保13年(1728)に鑄造された梵鐘が今も残っています。寺の石段下に湧泉があり、四季を通して水が枯れたことがないといわれています。

### ⑤赤羽公園

赤羽公園は赤羽川と三戸川の合流沿岸の河川敷を利用した野球場、多目的広場、テニスコートなどを備えた総合的な野外レクリエーション施設です。ここでは青少年をはじめ多くの町民が、運動や休憩、遊戯など思い思いの利用をして余暇を楽しみ、また、全国的なスポーツ大会の開催や運動クラブの合宿なども行っています。駐車場、トイレ完備。

### ⑥風呂川

ツツラト峠道は、荷坂峠道が開通する江戸時代前期までは、主街道として巡礼や商人、地元民達に使われていました。現在の地図にもその名残をとどめています。伊勢方面から来た場合、この川を境に、熊野の聖地に入るとされていたといわれています。巡礼は、この川で禊ぎを行っていたといわれています。

至 国道42号線